

# Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2022/07/07

## Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.22	0.25
JPY/THB	0.2664	0.0017
USD/JPY	135.95	0.10
EUR/THB	36.90	-0.04
EUR/USD	1.0182	-0.0084
USD/CNH	6.715	0.003
SGD/THB	25.77	0.18
AUD/THB	24.56	0.11
USD/INR	79.30	-0.07
USD Index	107.10	0.56

## Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.345	-0.098
10Y (THB)	2.710	-0.093
5Y (USD)	2.980	0.163
10Y (USD)	2.928	0.123

## Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,736.5	-27.4
WTI (Oil)	98.53	-0.97
Copper	7,520.5	-149.5

## Stock

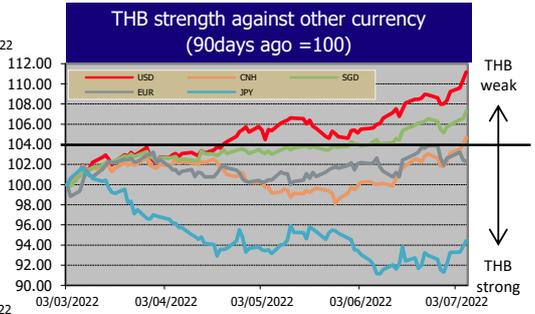
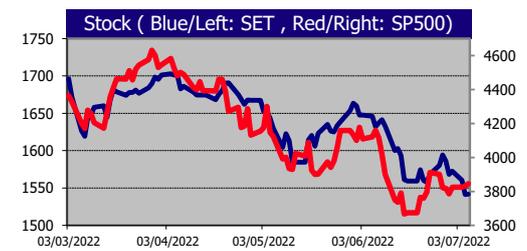
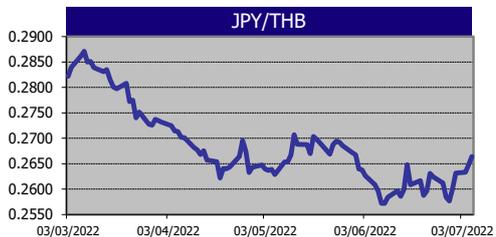
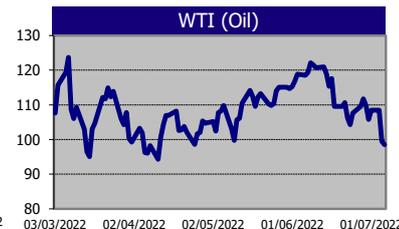
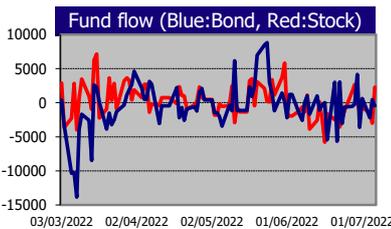
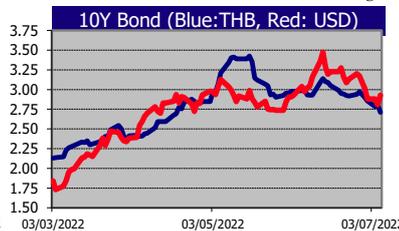
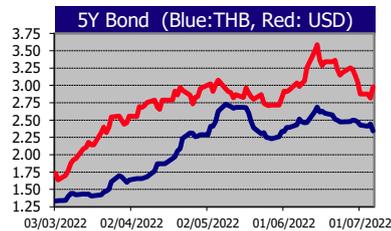
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,541.79	0.49
NIKKEI (JP)	26,107.65	-315.82
DOW (US)	31,037.68	69.86
S&P500 (US)	3,845.08	13.69
SHCOMP (CN)	3,355.35	-48.68
DAX(GER)	12,594.52	193.32

## Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	2,286	5310.2
Bond net flow	(438)	-884.0

\*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



## Yesterday's market summary

### ●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは2016年以来の高値を更新。バンコク時間は36.00近辺でオープン。前日に続きリセッション懸念が意識される中で、コロナの感染拡大が増加しており、中国のロックダウン懸念が強まる中で、アジア通貨は軟調推移。タイでは先日発表された6月CPIが予想を大きく上回り、輸入物価の上昇が強まる中で輸出減少、外国人旅行者の減少は更なるパーツ安にもつながるため、パーツ安トレンドが継続。海外時間にはユーロが一段安となる中でドル高基調も強まり、ドルパーツは直近高値をブレイクし、一時2016年以来の高値となる36.20台まで上昇した。

### ●ドル円その他

・昨日のドル円は下落後に反発。東京時間は135.60円近辺でオープン。リセッション懸念からアジア通貨が弱含み、米10年金利は2.80%近辺まで下落。ロンドン参入後はユーロが一段安を見せる中、米6月ISM非製造業指数が予想を上回ると米金利も反転し、ドル高が加速。ドル円はNY時間に一時135円を割り込んだものの、結局135.90円近辺まで値を戻してクローズした。

## Bangkok Dealer's Eye

米金利は引き続き値動きが荒いですが、これまでの上昇一辺倒だった流れに変化の兆しが見られます。米10年債は6月中旬の3.50%近辺から7月に入り一時2.80%近辺まで大きく金利低下。2年と10年の金利も逆転するなど、将来のリセッション入りを意識した展開となっています。一方のタイパーツ金利も影響を受けある程度の金利低下となっていますが、一昨日発表されたタイ6月CPIが前年比+7.66%となり、予想外に強かった5月+7.10%から更に加速する結果となる中、タイ中銀による8月利上げが確実視されていることから、米金利ほどの低下幅にはなっていません。為替はドルが対ユーロで大きく買われる中、対タイパーツでもドル買いになっていますが、両国の金利差という観点からはドル買い要因は薄れつつあり、徐々にその影響は出てくるものと考えます。(池澤)